

家畜衛生課（五島家畜保健衛生所）



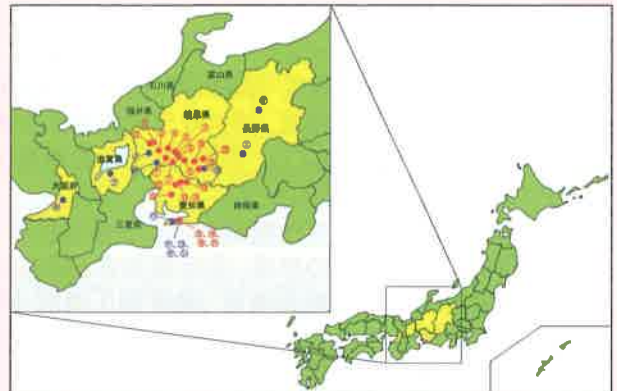
国内で豚コレラが継続して発生しています

平成30年9月9日、岐阜県の養豚場での発生以降、愛知県、滋賀県、長野県、大阪府の農場で豚コレラの発生が確認されました。特に、岐阜・愛知県では発生が相次いでおり、野生いのししの感染も多数確認されています。

加えて、近隣のアジア地域では、口蹄疫、アフリカ豚コレラ、高病原性鳥インフルエンザといった疾病が発生しています。また、平成29年には3,000万人近くの外国人旅客が訪日しており、そのうち80%以上がアジア諸国からの旅客でした。これから夏季休暇の時期を迎えるに当たって、国内のみならず諸外国との人や物の動きが一層頻繁になることが予想されます。

家畜・家さん飼養者の皆様におかれましては、特に下記の点に注意し、飼養衛生管理基準の遵守徹底による病原体侵入・まん延防止対策の実施をよろしくお願ひします。

豚コレラ発生状況



令和元年5月4日現在

飼養衛生管理の重要ポイント

- 適切な衛生管理区域の設定と衛生管理区域専用の衣服・靴の設置及び使用
- 畜舎及び器具等の定期的な清掃、消毒
- 他の畜産関係施設等に立ち上った者の衛生管理区域への立入の制限
- 野生動物等からの病原体の侵入防止（ワイヤーメッシュ、防鳥ネットの設置等）
- 毎日の健康観察、早期発見・早期通報の徹底
- 家畜・家さんの異状、死亡、飼料給与等に関する記録の保管
- 食品廃棄物等を原材料とする飼料を給与する場合の加熱処理



現場後代 検定成績 長崎県但馬系種雄牛歴代1位「美津洋」誕生

「美津洋」号は、全国的に高い知名度を誇る種雄牛「茂洋」を父に持つ、但馬系の種雄牛です。検定成績は、肉質において最も重要視される脂肪交雑がBMS.No.9.7 と、長崎県但馬系種雄牛で歴代1位（長崎県全体では歴代2位）となる好成績を取めました。

「美津洋」号の誕生により、県産種雄牛のラインナップが強化され、今後の「長崎和牛」の飛躍的な品質向上が期待されます。

<血統> 1代祖：茂洋、2代祖：美津福、3代祖：平茂勝

<現場後代検定成績（去勢牛）>

区分	脂肪交雑 (BMS.No.)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	上物率 (%)	検定頭数
美津洋	9.7	524.3	70.6	8.3	100.0	10
県平均	7.0	500.3	60.5	8.0	82.0	—

※県平均：平成29年次長崎県産産子の肥育成績（去勢）平均値

参考：長崎県肉用牛改良センターHP

<https://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/usi/index.html>